

国際自然保護連合日本委員会 2011 年度事業報告

2012.05.17 総会承認

1 全体報告

1.1 新規加盟団体

2012年2月に開催されたIUCN理事会において、日本から新たに2つの団体(NGO)がIUCNに加盟することが承認されました。以下、その2団体です。ラムサール・ネットワーク日本は、IUCN日本委員会の加盟手続きを平成23年度中に実施しました。

団体名：ラムサール・ネットワーク日本

HP：<http://www.ramnet-j.org/>

団体名：長島の自然を守る会

HP：<http://www2.ocn.ne.jp/~haguman/nagasima.htm>

1.2 親善大使の活動支援

2011年度の活動支援の実績は以下の通りです。

催事名：2011 イルカ with Friends Vol.7～40th Anniversary～
震災復興支援コンサート

日時：2011年7月16日 / 山梨県

催事名：～国連生物多様性の10年～イルカプロデュース
「まあるい地球コンサート2011

日時：2011年11月6日 / 愛知県

1.3 国連生物多様性の10年日本委員会の委員への就任

2011年9月1日に発足した国連生物多様性の10年日本委員会に吉田会長が委員として、就任しました。なお、その委員会の下に設置された幹事会や運営委員会などには、事務局(道家)が参加しました。

◆出席した主な会合

- ・委員会(9月1日)、幹事会(9月1日、2月20日)、運営委員会(2月6日)、運営WG(1月31日、2月10日)

1.4 生物多様性条約事務局との協力に向けた覚書き

2011年12月17日、2010年国際生物多様性年のクロージングと2011年国際森林年のブリッジセレモニーを行った石川県金沢市で、国連生物多様性の10年の国際キックオフが開催されたことにあわせ、国連生物多様性の10年の推進と愛知ターゲット達成にむけた活動を進めるため、生物多様性条約事務局と覚え書きを結びました。

プレスリリース：

http://iucn.jp/images/stories/news/pdf/press_release2011.12.18.pdf

1.5 「リオ+20」日本政府提案に対する COP10 参加市民団体からの緊急提言

地球サミットから 20 年を迎えるにあたり、ブラジル/リオデジャネイロで 2012 年 6 月に Rio+20 が開催されます。その会議で宣言される政治文書に対する日本政府のインプット案に生物多様性が含まれていないということで、国連生物多様性の 10 年市民ネットワーク (JCN-UNDB) と共に政府に対して、緊急提言をするために、賛同を募集しました。時間が短かったにもかかわらず、33 団体及び 61 名から賛同を得ることができ、日本政府案にも生物多様性の分野を盛り込むことができました。

プレスリリース : <http://www.jcnundb.org/index.php/news/115-media20111014.html>

2 管理業務

2.1 会議開催

- ・ 2011 年 4 月 18 日 会員総会
- ・ 2011 年 5 月 23 日 にじゅうまるプロジェクト広報会議
- ・ 2011 年 5 月 27 日 第 1 回にじゅうまるプロジェクト全体会議
- ・ 2011 年 6 月 13 日 にじゅうまるプロジェクト広報会議
- ・ 2011 年 7 月 12 日 第 2 回にじゅうまるプロジェクト全体会議
- ・ 2011 年 8 月 29 日 第 3 回にじゅうまるプロジェクト全体会議
- ・ 2011 年 11 月 28 日 第 4 回にじゅうまるプロジェクト全体会議
- ・ 2012 年 2 月 23 日 運営委員会
- ・ 2012 年 3 月 1 日 会員総会
- ・ 2012 年 3 月 30 日 会員総会

2.2 セミナー、シンポジウム、情報交換会等の開催

下記の通り、報告会、ワークショップ、意見交換会を計 16 回開催しました。

- ・ 2011 年 7 月 11 日 活動展開イメージ具体化ワークショップ
- ・ 2011 年 8 月 4 日 IUCN セミナー「危機的状況にある世界遺産条約」開催
- ・ 2011 年 8 月 17 日 愛知目標分析ワークショップ in 関西
- ・ 2011 年 9 月 22 日 第 1 回生物多様性国家戦略改訂に向けた NGO 意見交換会
- ・ 2011 年 10 月 8 日 にじゅうまるプロジェクトキックオフイベント
- ・ 2011 年 10 月 11 日 生物多様性条約事務局ジョグラフ事務局長との意見交換会
- ・ 2011 年 10 月 14 日 生物多様性条約事務局野田氏との意見交換会
- ・ 2011 年 10 月 20 日 IUCN-J セミナー第 2 回 IUCN アジア地域自然保護フォーラム
- ・ 2011 年 10 月 25 日 第 2 回生物多様性国家戦略改訂に向けた NGO 意見交換会
- ・ 2011 年 12 月 7 日 第 3 回生物多様性国家戦略に向けた NGO 意見交換会
- ・ 2011 年 12 月 26 日 IUCN-J セミナー第 3 弾 COP10 後の愛知ターゲットを中心とした世界の生物多様性政策の行方
- ・ 2011 年 12 月 12 日 インド NGO と COP11 に向けた意見交換会
- ・ 2012 年 2 月 18 日 第 1 回四国生物多様性会議 in 松山 (共催)
- ・ 2012 年 2 月 28 日 生物多様性条約事務局ディアス事務局長と NGO の意見交換会
- ・ 2012 年 3 月 9-11 日 生物多様性わかもの会議 (共催)
- ・ 2012 年 3 月 21 日 IUCN アジア地域事務所アバン氏との意見交換会

2.3 問い合わせ対応

訪問学習等の対応は、今年度はありませんでした。メディア対応は随時実施しました。

2.4 後援・協力名義

後援名義 (3 件)

団体名：ラムサールネットワークジャパン

催事名：「湿地のグリーンウェイブ2012」サイトから流域へー湿地がつなぐ自然と人々ー

期間：4月14日～5月22日

団体名：コンサベーション・インターナショナル・ジャパン

催事名：「政府、企業、NGO の連携による REDD+支援の形を考える勉強会」リオ+20 に向けて - REDD+と生物多様性の保全、適応策の連携実施 -

期間：2012年2月9日

団体名：環境省、外務省

催事名：ワークショップ「大規模自然災害と保護地域ーインド洋大津波の経験を三陸復興国立公園につなげるために」

期間：2012年2月17日

協力名義 (1 件)

団体名：国際青年環境 NGO A SEED JAPAN

催事名：グリーンエコノミー主流化ダイアログ～日本の生物多様性保全に向けて名古屋議定書の意義を考える～

期間：2012年3月16日

3 生物多様性の10年事業(BD10年事業)

3.1 IUCN アジア地域会合やCBD-SBSTTA への参画とウェブやセミナー等による情報発信

2011年9月26日～30日にかけて、IUCN アジア地域自然保護フォーラムに IUCN-J として、日本から5名が(吉田、呉地、道家、今井、小林)参加しました。会期中は情報収集・ウェブサイトでの発信を行うとともに、日本の取り組みを共有・紹介するためにポスターセッションへの参加、サイドイベントの開催、インド NGO との情報交換を行いました。

会議開催に先立ち、参加予定の団体や省庁との準備会合も行いました。アジア地域自然保護フォーラムにおいて COP10 に対する日本の活動紹介を行ったところ、インドで開催される NGO 向けセミナーへの参加が決まるなど、期待以上の成果を得ることができました。帰国後、会議で得られた情報などについても、報告会にて共有をしました。

その後、2011年10月下旬から11月中旬まで開催された生物多様性条約 COP11 に向けた準備会合に参加をし、COP11 で議論の論点となる8条j項や愛知ターゲットのフォローアップを行いました。期間中は、にじゅうまるプロジェクトのサイトで情報発信を行うと共に、帰国後、報告会を実施しました。

アジア地域自然保護フォーラムにおいて IUCN のインド事務所から日本の取り組みを共有してほしいという依頼をうけて、2011 年 11 月 16 日（水）に IUCN 理事会開催に合わせて開かれた CBD セミナー（インド・ニューデリー）に出席し、COP10 に向けた日本の活動報告を行いました。

◆主な成果物

- ・ SBSTTA 報告解説記事（ウェブブログ）15 本
- ・ 生物多様性条約解説冊子を 9000 部（初版 4,000 部、第 2 版 5,000 部）発行しました。各地の EPO でも活用されています。解説冊子で使われた愛知ターゲットの解説イラストは、NACS-J、ESD-J、環境省中部環境事務所、環境省生物多様性施策推進室製作のツールにも活用されています。

3.2 にじゅうまるプロジェクトの基盤整備

2011 年 10 月 8 日にプロジェクトのキックオフイベントを開催し、70 名近い参加者がありました。キックオフ時のにじゅうまるプロジェクトの登録は、18 団体 28 事業でした。現在（2012 年 2 月 22 日）、にじゅうまるプロジェクトには、28 団体 44 事業が登録をされています。

また、基盤整備として、キャンペーンのメッセージなど広報にかかる会議や全体会議を予定通り実施しました。2011 年 8 月 31 日、にじゅうまるプロジェクトデモサイトを立ち上げました。その後、10 月のキックオフ前に本サイトを公開しました。

さらに、生物多様性条約解説冊子、にじゅうまるプロジェクトのリーフレット及びウェブサイトなどを開設し、エコプロダクツや各地で開催しているワークショップなどで適宜配布しました。キャッチコピー、ロゴ、20 のアイコン、各種ツールの製作に博報堂の無償協力（博報堂クリエイティブボランティア）を頂きました。

にじゅうまるプロジェクトは、キックオフ後その後さまざまな機会を通じて PR を行っています。主なところでは、国連生物多様性の 10 年日本委員会（UNDB-J）、UNDB-J 全国ミーティング（10 月 29 日）、民間参画パートナーシップ第 1 回総会（12 月 16 日）、エコプロダクツ展、国連生物多様性の 10 年国際キックオフイベント（12 月 17 日）等です。

UNDB-J とは連携をすすめており、にじゅうまるプロジェクトに登録された事業のうち多様な主体間の協力で行われている活動などを、UNDB-J で認定する枠組みも検討されています。

20 のアイコンは、IUCN 内部でも活用されることになっています。

◆主な成果物

- ・ にじゅうまるプロジェクトの「ロゴ」、「キャッチコピー」「ステートメント（趣意書）」「ウェブバナー」「20 の個別目標毎のアイコン」ができました。
- ・ にじゅうまるプロジェクトのリーフレット：6300 部制作しました。
- ・ 「ポスター」（A1 判、A2 判）
- ・ ロゴ・アイコンのシール：14,000 部
- ・ バッジ（2 種類、1000 個ずつ）

2011 年度事業の評価

2011 年度は、生物多様性の 10 年に向けた IUCN-J の活動の 1 年目として、以下を行った。

<主な成果>

- IUCN-J と CBD 事務局との協働に関する覚書の締結、IUCN アジア地域自然保護フォーラム(9 月)などで発信・提案。
- 次期生物多様性国家戦略への働きかけ、「にじゅうまるプロジェクト」に必要な基礎構築（基本計画やウェブサイト・広報ツールの作成、参画の仕組みの整備、他団体との連携体制の確認等）を行い、愛知ターゲットへの取組み団体拡大に向けた活動の基礎を整える。

<生物多様性の 10 年事業(BD10 年事業) にじゅうまるプロジェクトから得られた知見>

にじゅうまるプロジェクトは、愛知ターゲットを知り、どんな活動ができるかを考え（またはすでに行っている活動が、どの目標と関わっているかを認識し）、活動を宣言・登録する参加型のプロジェクトである。

1 年目にあたる 2011 年の活動を通じて、非常に多くの効果を持ちうる事が分かった。

- ・生物多様性は温暖化対策と異なり、大規模に CO2 を排出する地域というようなものではなく、現場の活動（地域性・多様性）の重要性が高いという特徴あるため、にじゅうまるプロジェクトの枠組みは有効性が高い
- ・地域の NGO は国内政策や国際動向に対して十分な情報を持っておらず、にじゅうまるプロジェクトへの参加を通じて、自分達の活動の意義づけを行える仕組みとなっている。また、そういう「国際的な情報を活用して現場の保全活動を効果的に進めようという団体」に対してより効果的な情報提供のチャンネルを作ることになる。
- ・既にある事業をそのまま登録するだけでなく、他の活動の必要性（他の目標への取り組みの必要性）を認識する「学びの機会」「さらなる活動を発展させる動機づけ」が参加プロセスに存在する。
- ・自治体や、企業にも、学術研究機関や政府など、ありとあらゆるグループが参加できる枠組みであり、国民運動的に発展させる可能性を持っている。

以上